

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウイズ・ユークナウ		
○保護者評価実施期間	2025年2月12日		～ 2025年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年2月12日		～ 2025年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通常の療育に加えて、学習支援ができる環境と職員がいる。	学習支援の仕方や児童についての情報を職員間で共有し、支援にあっている。児童の特性等に合わせて指導内容を調整している。	より学習に集中できるように、年齢による学習時間の割り振りを考える。
2	施設隣に公園や体育館があり、体を動かして遊ぶことができる。	時間・職員の配置に余裕がある時は、公園や体育館に出かけて体を動かすようにしている。	児童が自ら外出したくなるようなプログラムを考える。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習前後の児童との関わる時間や頻度が少ない。	学習支援だけでしか児童に関わらない時があるため。	普段から児童とのコミュニケーションの機会を増やし、会話を積極的にする。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ウイズ・ユークanau		公表日		2025年3月8日			
		利用児童数		25名		回収数		20名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		1	スペースが広い。			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	4		6	子どもに向き合っている。 テスト対策をお願いしたが、人が足りないと聞いた。	新年度からテスト対策、講習の実施		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		4	本人も上手く部屋を移動している	利用する児童様に合わせて、必要な環境整備を行っている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20				落ち着いて過ごせている。			
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1			向き合っている。 信頼できている。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1			本人も満足している。			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1		1	課題達成と共に成長できている			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1		1	課題に対して支援されていると感じる			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1			課題達成に向けて支援されている。			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	3		1	本人の様子をみて変更されている。			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	5		8		施設単位ではできていないが、グループとしてキッチンカーを招いたり子ども食堂を実施。		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19			1	見学時に丁寧な説明で分かりやすかった。			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1		1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1		3	お知らせをもらっている。			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20				毎回報告を受けている。			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2		1	定期的に話せている。			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1		1	信頼関係を築けていると感じる。			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2		3	お知らせをもらっている。 なかなか参加できませんが、支援されていると思います。				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2			何かあった時、相談しやすくなっている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1		1	定期的に確認がある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		1	発信されている。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1	守られている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		6	安全に過ごせている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		7	安全に過ごせている。	訓練は実施しているが、ご家庭への説明が不十分であった。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	2		2	しっかり見守りがある。	
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		4		職員間で役割を分担して対応する。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	1			信頼して楽しんで過ごせている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3			楽しんで通えている。 毎週楽しく通えている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1			大変満足	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ウィズ・ユークanau		公表日		2025年3月8日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者が偏らないよう、時間配分している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			安定した職員数を維持するため、採用や人材育成に力を入れていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		2階に学習室を作り、切り替えがスムーズにできるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃の実施	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		状況に応じ相談室を使用。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		各々のレベルに合わせた支援を心がけている。	話し合う機会を仕組みとして導入する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間での話し合いの実施。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼の実施	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		委員会ごとの研修の実施	引き続き研修機会を増やして制度を手厚くしていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		アセスメントに基づき作成	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			職員間の共有をさらに深めていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議を開いて意見を募っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個人毎にファイリング。 管理ソフトから各自で確認することができる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	確認できている。	アセスメントについて、さらに視野を広げられるようにしていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			移行支援や地域支援・地域連携については今まで以上に力を入れていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間での話し合いの実施	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節にあったイベントの考案する。	定期的にマイナーチェンジして改善していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		公園へ出かけて友達と一緒に体を動かす時間を作っている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼の実施		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		終業時間がバラバラのため、支援終了後に打合せを行うのは難しい。連絡ツールを活用して情報の共有に努めている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		クラウドツールで記録をとっている。	検証や改善に対して、さらに日々の記録を活用したい。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○		支援内容の力の入れ具合に差はあるが、幅広く組み合わせるように努めている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			全てを職員が決めず、子どもに考えさせている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			一番関わりのある職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			配布物や電話で実施	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○			就学前の情報収集が難しい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○			対象者がいないため実施したことはない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○			来所時間がバラバラのため難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			担当者を決めている。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時やLINEでの連絡する。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			定期面談で家族の支援を行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			年に一度案内の配布する。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			保護者面談の実施		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			同意は得ているが、業務やご家庭に都合で丁寧に説明ができていないところがある。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的にも面談も行っているし、気軽に話を聞ける環境づくりに努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に保護者会等を実施している。	さらに機会を増やして場を提供していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		対応した職員はすぐに上司に報告、上司はすぐに対応にあたっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		色々なイベントの情報をLINEで発信する。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		お借りしたものは保護者様へ直接返却している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方との接点確保が難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時等に確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			医師の指示書は得られていないので、必要が生じたら取得する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			ご家庭への周知は弱いので、説明の機会を持つ必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			行っているがヒヤリハットの案件が少ない。些細なことでも危険を察知する意識を高めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必要な研修を年間スケジュールに組み込んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			契約時に説明を行っている。	